

ゆうらくせん 遊楽船3月号



施設長 福永政和

桜が満開、新緑の森に美しく響き渡るウグイスのさえずり…、すっかり春ですね。

「つぼみの会」の由来は、利用者の皆様の可能性を蕾に例え、わずかでもいつしかその可能性が花開くことを念じてつけられたもの。厳しい冬を耐え、小さな蕾が膨らみ、必ず春に美しい花をつける桜を眺めていると、今日の日を大切に、利用者の皆さんが元気でありますようにと念じてしまいます。

さて、3月も今日で終わります。振り返りますと、今年度も新型コロナの影響で日々不安な一年でした。利用者の皆様の安心と安全、何よりも命を守りながら、楽しみと生きがいをもって生活していただきたいとの思いで過ごしてまいりました。皆様のご協力もあって、幸いにも、ここつかわきでの利用者さんの感染を一人も出さなかったこと、また、コロナの感染状況を見ながら、外出や旅行、祭りなどができ、利用者の皆様の笑顔が見られたことが何より嬉しい一年でした。

東京オリ・パラ、北京冬期オリ・パラで躍動する選手に感動し元気をもらいながらも、世の中はコロナに翻弄され、加えてロシアによるウクライナ侵攻…。安心・安全が脅かされ、疾風怒濤の波の中で私たち日本人もこれからどう生きるかが問われています。

明日から4月、新しい年度が始まります。利用者や家族の皆様の状況等を踏まえながら、より一層、充実した暮らしや活動をと考えております。この一年の御協力に感謝いたしますとともに、引き続き新年度も御支援いただきますようお願いいたします。

バス外出 (3班) 🙄

コロナの影響で延期されていた3班の初詣を、3月18日(金)に実施しました。あいにくの雨でしたが、久しぶりの外出とあって皆さんとても喜んでいました。まずは始良イオンで買い物や食事を楽しみ、昼過ぎに霧島神宮へお参りしてきました。

一人の利用者さんを介助しながら階段をゆっくり登っていると、「大丈夫ですか？頑張ってください。」と修学旅行中の帖佐中の生徒さんたちから優しく声をかけられました。コロナ禍のために修学旅行も県内での実施を余儀なくされているようですが、それでも笑顔で話しかけてくれる子どもたちの優しさがうれしいですね。また、何より外出することで利用者さんたちが、社会の中で多くの方々と触れあうこと、買い物や会話を楽しむことができることがいいなあと感じることでした。



お花見

3月28日(月)、3月30日(水)
2班に分かれて、今年も都城の観音池公園でお花見を楽しみました。満開の桜がまるで桜の雲海のごとく見事に咲きほこり圧巻の景色。

お花見しながらのお弁当、散策やゴーカート、リフト、温泉などを楽しみ、満喫した一日でした。



★つかわき自治会を発足します。★

現在、49名の利用者の皆様がここつかわきを我が家として住まわれています。いわゆる同じ集落の中で集団生活をしていることとなります。ご自分の意思をはっきりと言うことのできる方もいれば、私たちスタッフへなかなか言葉でうまく伝えられず、困り感を持たれている方もいらっしゃいます。現在でも仲良く助け合いながら生活しておりますが、こうした方々の心の声を私たちスタッフがもっと受けとめていかなければと考えています。さらに利用者の皆様がより居心地のよいつかわきであることを願って、新年度に“つかわき自治会”を発足することに致しました。

発足のための準備として、利用者の皆様を代表し、役員としての立場で皆様のお世話をすることになる方々へお声がけさせていただきました。

会の目的や規約、役員の役割などを説明したところ、快く返事をいただいています。4月に総会を開き、会の名称や役員、活動内容など正式に決定する運びです。詳しくは4月号にてお知らせいたします。

